

## 第23回北勢線の魅力を探る「魅力まるっと北勢線 阿下喜から西桑名まで」

開催日：2014年10月4日（土）

参加者：83人（内子ども2人）

協力：ふるさといなべ市の語り部の会、桑名歴史案内人の会

### 阿下喜駅から楚原駅まで

当日は朝から良い天気恵まれた。阿下喜駅では1日乗り放題パスが販売された。全員ホームに集合し、高い位置より転車台を見下ろして簡単な説明を受けた。阿下喜駅開設当時（昭和6年=1931）より昭和の中旬ごろまでホーム北側の製材所で使われていた転車台を平成16年（2004）三岐鉄道によって移設、復元されて、市民団体が管理している。



転車台



北勢線車内

麻生田駅までの車内で語り部さんから昔の北勢線（100周年）の説明を聞いた。開業当時の北勢線は電車ではなく小さな蒸気機関車が客車をけん引していた。馬力がなく阿下喜まででは行けず、阿下喜と麻生田の中間にあった阿下喜東（のちの六石、現在は廃止）駅を終点にしていた。



洞門口

麻生田駅で下車、これより「歩きたくなる道500選」に選ばれたコースの変則コースで楚原駅までのウォークである。麻生田地区のさんまい（墓地）を横切り北勢線開通当時（大正5年=1916）に作られた洞門口（約30m）を下り、部落入り口のお地藏さんや五輪石が祀られた一角に、蓮如上人が休憩をされたと伝わる腰掛け石が置かれていた。

六把野井水、員弁川、北勢線にそって、蛍の群生地、大正初期建設の姿を残す山田川橋梁、昭和32年に起きた北勢線の事故現場（上笠田）、平成16年に廃止された猫がたくさんいた上笠田駅、機雷（戦艦陸奥搭載）と砲弾（戦艦長門搭載）が祀られている八幡神社（下笠田）を見ながら通って北勢線最高の撮影スポットのめがね橋（明智川穹窿橋）に到着。大正5年の建設当時は第一次世界大戦の最中で鉄材が高騰したので、コンクリートブロックを作り、石積の工法で橋を作った。

約300m離れた「ねじり橋（六把野井水拱橋）」は六把野井水と40度の角度で交差するため、この様にねじれた橋になり、この橋もコンクリートブロック製。セメントが完全に硬化するまでの2か月間は丸太の足場を組みレールを橋から浮かせて電車を走らせた。



ねじり橋

いなべ市立員弁西小学校の正門両脇に昭和6年に建てられた、自然石の句碑がある。下笠田城主、多胡実元の末裔の多湖健一氏が詠まれた2句である。

## 北大社車庫

楚原駅から東員駅まで電車に乗り、東員駅から歩いて北大社車庫へ。北大社車両区の古川区長さんから北大社車庫について説明を聞いた。昭和6年(1931)7月、北勢線が電化された時に変電所が設置され、昭和52年(1977)5月、当時、車庫があった西桑名駅が移転するのに伴って、この地に車庫は移された。その後も運転指令所が置かれるなど運転の中核であった北大社駅は、平成17年3月に廃駅となって北大社信号場となり、車庫は変電所と共に残された。



現在、この北大社車両区では6名のスタッフが、主に10日以内で実施する列車検査や3ヶ月に1度行う検査、3年に1度の重要部検査を行っている。なお、重要部検査では台車と上のボディを分けて、台車は近鉄の塩浜車庫へ陸送し、検査を外注して実施している。特殊狭軌で、部品の調達に苦心しながら自主的な検査をするなど、きめ細かなメンテナンスを行うことで、列車の安全運行に力を注いでいる。

## 馬道駅～諸戸徳成邸～諸戸水道貯水池遺構

次は馬道駅で下車して諸戸徳成邸へ行った。2代諸戸清六が大正末頃に建てた別邸である。敷地面積は約7,700㎡で主屋、離れ、茶室、コンクリート造の蔵など9棟の建物と墓所とから成り、庭園も自然の高低差を生かして作庭されている。昭和61年(1986)まで2代清六夫人が住んでおられたが、亡くなられてからは無住となっている。

諸戸家ではこの屋敷の保持に苦慮されておられ、もし人手に渡ってマンションや住宅地と化してしまうことになれば桑名にとって大きな損失である。昭和の遺産として市民に伝える場所としてぜひ保存活用出来るよう望まれる。



向かいにある諸戸水道貯水池遺構を見学した。初代諸戸清六が私財をなげうって作られ、日本の近代上水道の施設では7番目に完成したものである。この水道施設は大正13年(1924)に諸戸家より当時の桑名町に寄贈され、昭和4年まで使用された。平成20年3月に三重県の文化財に指定された。



## 三崎踏切～西桑名駅～桑名京橋駅跡

近鉄(1,435mm)、JR(1,067mm)、北勢線(762mm)の3種類の線路幅が並ぶ日本唯一の踏切を通過して西桑名駅へ着いた。ここからは桑名京橋駅まで線路が延びていたが、昭和36年(1961)に廃線となり、桑名信用金庫駅前支店の南が斜めになっているのが線路跡である。国道1号線からはくわなシティホテル、アピタ、桑名市民会館の北側の道路が線路跡である。桑名京橋駅付近は住宅地になっている。

